

文鮮明天地人眞の父母宇宙聖和3周年記念式



「お父様！ これからはご心配なさないでください。
私たちが必ず責任を果たします
ですからお父様は永遠の本郷苑で
これまで孤独だった神様 天の父母様を慰労され
頌栄の対象としてご自由であられることを懇切に願います」

各界代表礼拝を3段階で進行・金正恩第1委員長追悼メッセージ代読



- 1.天宙聖和3周年記念敬礼式を主管される真のお母様
- 2.司会をする柳慶錫会長
- 3.報告祈禱をする梁昌植特命総使
- 4.み言葉訓読をする鄭元周首席補佐官
- 5.特別報告をする朴相権会長
- 6.天宙聖和3周年記念敬礼式を主管される真のお母様
- 7.聖燭を点火される真のお母様と文善進世界会長
- 8.記念敬礼式に参加する真の家庭
- 9.記念敬礼式に参加する世界代表指導者

文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年敬礼式が、天曆7月17日(陽暦8.30)午前7時、真の父母様に侍り、真の家庭をはじめとする国内外のVIP、機関企業長、全国牧会者、宗親と元老食口など300人余りが参加して天正宮博物館大講堂で行われた。

この日の敬礼式は、真の父母様が入場し聖燭を点火されて、全体の儀式が始まった。真の父母様天宙聖和3周年を迎え、各界代表の敬礼を3段階に分けて、①霊肉界の真の家庭代表の敬礼、②世界宣教国代表者(大陸会長と特命総使)の敬礼、③霊肉界全祝福家庭の敬礼の順で行なわれた。こうした敬礼式の変化は、①霊肉界を主管される真の父母様、②天一国3年の結実、③天地人真の父母実体時代の意味を含んでいる。

この日の敬礼式は、世界平和統一家庭連合・柳慶錫韓国会長の司会で、真の父母様の入場、敬礼、聖燭点火、開会宣言、天一国歌斉唱、各界代表敬礼式、家庭盟誓、梁昌植特命総使の報告祈禱、鄭元周首席補佐

官のみ言葉訓読、聖餐、映像視聴、朴魯熙特命総使の億万歳三唱、真の父母様の退場、閉会宣言の順で進行された。

梁昌植特命総使は報告祈禱で「神様の解放と人類救援の摂理的使命を果たされ、本郷苑に安着された億兆蒼生萬勝君皇であられ、天一国真聖徳皇帝であられる文鮮明天地人真の父母様の聖和3周年を迎えて、真のお母様に侍りVision2020に向かってさらに力強い歩みを踏み出すよう導いてください」と願った。

み言葉訓読時間に鄭元周補佐官は『真の父母経』第13章復帰摂理完結と天一国定着の中で「真のお父様の伝統相続」のみ言葉を訓読した。また、この日の記念式では「中断なき前進」を宣言され、神氏族メシヤの使命完遂を強調された真のお母様のみ言葉を中心に編集した『栄光の冠』というみ言葉映像が上映された。

柳慶錫韓国会長は敬礼式挙行に先立って、「真のお父様天宙聖和3周年

を迎え、統一家の祝福家庭と食口の皆さんが真の父母様と心情的には完全に一つになり、遺業として与えられた神氏族メシヤの使命を2020年までに完遂することを決意するこの時間になることを願う」と述べた。

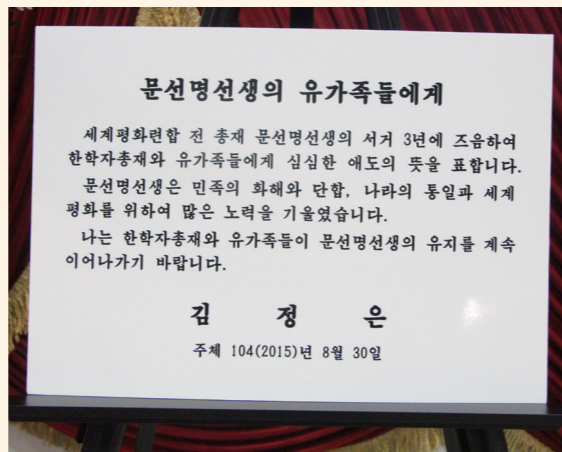
一方、敬礼式前の特別報告の時間には、難しくなった南北関係にもかかわらず、北朝鮮に行った朴相権会長が、金正恩北朝鮮国防委員会第1委員長の追悼メッセージを代読する時間を持った。また北朝鮮は、朝鮮アジア太平洋平和委員会・金養建委員長の名前で花輪を送ってきた。

[金正恩第1委員長の追悼メッセージ]

「文鮮明先生の遺族に、世界平和連合前総裁・文鮮明先生の逝去3年に際して、韓鶴子総裁と遺族に心からの哀悼の意を表します。文鮮明先生は民族の和解と団結、国の統一と世界平和のために多くの努力を傾けました。私は韓鶴子総裁と遺族が、文鮮明先生の遺志を続けて行かれることを願います」

文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念式盛大に開催

真のお母様深い心情とみ言葉で恵み深く記念式主管・世界指導者及び食口ら約3万人参加



1.天宙聖和3周年記念式を主管される真のお母様
2.献花される真のお母様
3.献花される真の家庭のご子女様と孫・孫娘様

4.金正恩北朝鮮国防委員会第1委員長の追悼メッセージ
5.天宙聖和3周年記念式の様子

文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念式が、天
一国3年天曆7月17日(陽曆8.30)午前9時、清心平和
ワールドセンターで真のお母様を迎えて真の家庭と世界
の前現職国家元首及び国内外の主要人士をはじめ、
統一家の祝福家庭、食口、平和大使など約3万人が
参加して精誠を込めて献呈された。この日の行事は、全
世界194カ国にインターネットで生中継された。

真の父母だったので決断して なし遂げられた歴史的偉業

真のお母様は記念式のみ言葉で「悲しみと痛みを越えて
受け継がれた罪悪の歴史を終結し、人類の真の父母と
して決断し、なし遂げられた歴史的偉業」について言及さ
れ、天のみ旨をなすために責任を果たすことを願われた。こ
の日の真のお母様のみ言葉を要約・整理して紹介する。
△世の中で上の位置で責任を持った人が一番下まで降
りてくることは大変なことです。ましてや万王の王であり、
天地人真の父母として来られた再臨のメシヤ・救世主・
真の父母の路程はどうだったでしょうか。準備されたキリス
ト教基盤が責任を果たすことができないことによって、「僕
の僕」の位置から出発するしかなかった摂理路程を皆さん
は知っています。そうした渦中でも真の父母様は、天を
慰労され、必ず神様の夢であり願いであるみ旨をなして
差し上げると誓われました。
△1970年だけ見ても、第2次大戦直後で世界情勢は民主
世界の代表国である米国が世界を動かしていましたが、試
練がきました。共産主義の脅威を受け、家庭破綻と極度
の個人主義で青少年問題、薬物問題、思想の問題で深刻
な立場に置かれました。誰も解決できない状況でした。
△その時、文鮮明総裁は韓国を後にして米国に渡り、
「米国が病気にかかっているので私が医者として来た。
米国に火事になっているので、私は消防士としてきた」

と言われました。米国を目覚めさせ、結果的に共産主
義の没落をもたらしました。また、南米の共産化もカウサ
(CAUSA)を立てて教育し、それらの国々を救いました。
世界ができなかったことを、真の父母であられたので決断
して行われたのです。

「お父様に差し上げたい言葉」

△それだけではなく、人類の未来と地球の未来を心配さ
れ、多くの準備をされました。1981年国際科学統一大
会で、世界平和のための世界平和高速道路の建設を
提唱されました。アフリカの喜望峰から欧州大陸とアジア
を経て、海岸と半島を過ぎて南米のチリのサンティアゴま
で行く道です。また、アラスカ・ベーリング海峡トンネルも
語られ、韓日海底トンネルを通して日本列島と韓半島
に接続して、世界が一つになる道を連結するために努力
されました。今回、聖和3周年には世界中121カ国が参
加するピースロード大長征を無事完成させました。
△100年前のインドの詩聖タゴールは、大韓民国を賛
美しました。「コリアその名前はアジアの灯り」と言いま
した。今日の韓国経済がアジアの灯りではありません。灯
籠は、光を指します。光は真理であり、真理はみ言葉で
す。真の父母様の教えで、この大韓民国がアジアと世界
の前にそびえ立つことができるということです。
△今日お集まりの皆さんは、お父様に何を語りたいで
すか。私はこのように言いたいです。「お父様！ これからはご
心配なさらないでください。私たちが必ず責任を果たしま
す。ですからお父様は永遠の本郷苑で、これまで孤独だ
った神様・天の父母様を慰労され、頌栄の対象としてご
自由であられることを懇切に願います」これが私たちが世
界の前に見せ、責任を果たすべき心情文化の旗であり、
花であるということに覚えてくださり、皆さんも私と同じ覚悟
で最善を尽くしてくださるようお願いいたします。(4面に続く)



1.天宙聖和3周年記念で語られる真のお母様
2.記念の辞を述べる文善進世界会長
3.司会をする柳慶錫共同実行委員長
4.報告祈禱するアン・ジュンソク世界副会長

5.追悼の辞を述べるアノテ・トンキリバス大統領
6.追悼の辞を述べるイ・スソン元国務総理
7.朝鮮アジア太平洋平和委員会・金養建委員長名の花輪

私たちのそばに永遠に生きておられる真のお父様

この日の記念式は、天宙聖和3周年組織委員会・柳慶錫共同実行委員長の司会で真の父母献花、開式宣言、天一国歌斉唱、世界平和統一家庭連合アン・ジュンソク世界副会長の報告祈禱、鄭元周首席補佐官のみ言葉訓読、代表献花、文善進家庭連合世界会長の記念の辞、イ・スソン元国務総理とアノテ・トン大統領の追悼の辞、記念映像上映、真の父母様のみ言葉の順で行なわれ、続いて宋龍天日本総会長の司会で天宙聖和3周年記念ミュージカルが公演された。

この日、真のお母様のみ言葉に先立ち、席から立ち上がって参加者と一緒に『愛しています、あなたを(お父様)』の歌1番を二度歌われ、真のお父様を慕う人たちの心情に火を灯した。

文善進世界会長は記念の辞で「真のお父様の生涯と業績の尊厳性とその意味を振り返るとき、私の心は永遠の愛と感謝でいっぱいである。真の父母様は何らの条件と計算なく、父母の心情で真の愛を人類に与えられた」とし、真の父母様の崇高な人生を振り返った。続いて「皆さんの心の中に存在する神聖な光を絶対に忘れないでください。皆さんは天の父母様と真の父母様の希望と夢の実体」と強調した。

文世界会長は参加者に真のお父様の真の愛の生涯を称え、隣の人と一

緒に大きな抱擁をするように要請された後、「HUGのHはHarmony(調和)、UはUnity(統一)、そしてGはGoodness(善)・Gratitude(感謝)・God(神様)を意味する」と説明した。続いて、お互いに「ありがとうございます、愛しています」と挨拶を交わすことを願われ、「真の愛を実践して真の父母様の下の一家族として生活するとき、真のお父様が永遠に生きておられることができる」と述べた。

最後に文善進世界会長は「真の父母様を愛して敬い、統一されたビジョンと誠実さで神様のすべての子女を復帰すべき使命を果たしましょう。Vision2020を勝利し天一国を完成しましょう」と促した。

金正恩第1委員長追悼メッセージ紹介

イ・スソン元国務総理とアノテ・トン大統領追悼の辞

柳慶錫共同実行委員長は、金正恩北朝鮮国防委員会第1委員長が送ってきた追悼メッセージと朝鮮アジア太平洋平和委員会・金養建委員長の名前で北朝鮮政府が送ってきた花輪を紹介し、「天宙聖和3周年を契機に韓半島に統一の扉が大きく開くことを祈る」というメッセージを伝えた。

この日の記念式では、国内外の代表人士が真の父母様に対する尊敬と感謝の意を込めて追悼の辞を述べた。まずイ・スソン元国務総理は追悼の

辞で「21世紀入り、人類は平和の新しいミレニアム時代を希望したが、まだ地球村のあちこちで宗教紛争と領土紛争、テロなどが止まらない。韓国でも多くの対立と道徳的退廃を見ることができると指摘し、「残念なニュースに触れるたびに、文総裁の存在がとても貴重に感じられる。総裁が誰よりも地球村の平和と共生・共栄・共義のために献身して尽力してこられた」と真のお父様の摂理的経緯と業績を称えた。

続いて「文総裁の空いた穴があまりにも大きく寂しいにも関わらず、依然として遺業を相続・発展させるためにあらゆる努力を尽くしている韓鶴子総裁に敬意を表し慰めの言葉を差し上げ、天の国におられる文総裁の貴重な永生と韓総裁の大きな成果を祈る」と語った。

続いて壇に上がった鮮鶴平和共同受賞者であるアノテ・トンキリバス大統領は追悼の辞で、「文鮮明・韓鶴子総裁が提示された神様の下の人類一家族のビジョンは、人類と次世代のための希望の光である。そのビジョンの中心は、ために生きる真の愛である。文総裁が夢見られた平和の世界を実現するために、すべて一緒に努力することを願う。第1回鮮鶴平和共同受賞者として文鮮明総裁の生涯に対する尊敬と感謝の気持ちを伝える。文鮮明総裁の遺産は、韓鶴子総裁を通して相続・発展していくことを確信する」と語った。(5面に続く)

「宇宙の光・真の愛の真の父母」

これに先立ち、家庭連合アン・ジュンソク世界副会長は報告祈祷で「真のお父様は生が尽きるその日まで、真の父母様の願いをなし遂げるために血と汗と涙を流しながら、地球星のあちこちに崇高な足跡を残されました。今日この時間、天の父母様に対する真の父母様が忠孝の伝統を受け継ぎ、実体天一国創建に向かって前進することを決意するこの時間となるように導いてください」と願った。

続いて、全世界で歩んだVIPと統一家の兄弟姉妹らの心を集め、参加者代表者が献花した。献花は霊肉界の真の家庭代表、世界頂上代表、元老と指導者及び平和大使代表、世界指導者代表の順に進行された。その他の参加者は記念式後に献花し、真の父母様に対する懐かしさと感謝の気持ちを伝えた。

追悼の辞の後には記念映像「宇宙の光・真の愛の真の父母」が上映された。記念映像では「実体天一国時代、千年岩のように永遠に生き、明るい光で世界を照らされる真の父母様の宇宙聖和の過程がドキュメンタリー形式で描かれた。また、宇宙聖和以降Vision2020を宣言し、実体天一国定着と平和世界実現に向け大長征を陣頭指揮される真のお母様の摂理的足跡が映像を通して食口に伝えられた。

一方、真のお母様はみ言葉の後、壇から降りて日本協会で宇宙聖和3周年を記念して制作したミュージカル『誰よりも日本を愛した人』を観覧された。公演後、天の摂理に対する中断なき前進を決意する徳野英治日本会長の億万歳三唱で、この日の記念式と文化公演がすべて終わった。

一方、趙誠一家庭連合世界本部事務総長の司会で進行された式前文化公演は、「2015グローバルトップガンチーム」の公演で始まった。200人余りのグローバルトップガンチームは、真の父母様に対する懐かしさを込めて『新しいエデンの歌』と『ユーレイズミアップ(You Raise me up)』を歌った。

続いて宇宙平和合唱団(Universal Peace Choir)の

公演が続いた。5大洋6大州の350人余りのグローバル讃頌団と天福宮教会の天心聖歌隊で構成された宇宙平和合唱団は、真のお父様宇宙聖和3周年を記念して真の父母様の愛楽曲である『赤とんぼ』『アリラン』『ホルロアリラン』『アメイジング・グレイス』を新たに編曲して披露し、天の父母様と真の父母様に喜びと栄光を献呈した。

天の前に忠孝の道理果たすこと誓う

この日の記念式に出席した仁川教区チョ・ナムムン東区教会長は、「すでに真のお父様が聖和されて3周年になったということが実感できない。真の父母様の生涯も神様の摂理史から見れば短い時間だが、その時間の間、6000年の復帰摂理歴史を終結し、天一国を開いてくださった賜物にもう一度感謝する」と所感を述べた。

大邱教区キム・チャンオ副教会長は「真のお母様と共に『愛しています、お父様』を歌い、全世界統一家は心情的にさらに一つになることができた。混沌と暗闇の中でも命の光が現れるように、統一家は間違いなく今の困難を克服し、実体的基盤を拡大していこう。貴い賜物に感謝し、韓半島統一と神氏族メシヤの使命完遂のために前進していきたい」と誓った。

済州教区ヨシノ・サユリ食口は「あまりにも真のお父様が懐かしい。過去3年間、何もしたことがなく申し訳ない思いだけだ。Vision2020勝利のために血と汗と涙を流し、中断なき前進をしておられる真のお母様が語られたように、永遠の世界で真の父母様と真のお父様が平安でいることができるように最善を尽くしたい」と語った。

本部教区天福宮教会コ・ジョンウ権士は「懐かしいお父様を亡くし、侍墓の生活を3年過ごした後、罪人の心で記念式に参加した。真のお母様は、暖かく仁慈であられる笑顔で迎えてくださった。今回の記念式を通して、統一家の食口は真の父母様と一つになって天運勝利の運勢に乗り、天上天下大転換のきっかけを迎えることができた。生命が尽きる日まで忠孝の道理を尽くすために最善を尽くしたい」と誓った。〈記事提供：企画広報局〉



1.『愛しています、お父様』を歌われる真のお母様
2.献花をする世界の前現職頂上ら

3.記念公演をする宇宙平和合唱団員
4.宇宙平和合唱団と記念式場の舞台の様子

天宙聖和3周年記念ミュージカル『誰よりも日本を愛した人』

赦しと愛で日本を祝福された真の父母様と世界摂理に貢献した日本教会の足跡描く

文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念ミュージカル『誰よりも日本を愛した人』が、天曆7月17日(陽曆8.30)午前10時30分、天地人真の父母様を中心に舞台を披露した。今回の記念ミュージカルは、赦しと愛で日本を抱かれ、母の国として祝福され、世界摂理に貢献するようにされた真の父母様の日本に対する愛と世界のために投入して来られた生涯が描かれ、天宙聖和3周年記念行事準備委員会の支援の下で日本協会ミュージカル制作委員会が制作した。

第1幕は、天の召命を胸に抱いて真理を探究し、社会全般で起こる様々なことを体験される真のお父様の留学時代の様子が描かれた。一方、第1幕の最後には、少年お父様が歌ったソロ曲『日本を愛する』は、日本が民族を越えて世界を愛することを望んでおられる天の願いが大きな響きになって観客に伝わった。

第2幕では、帰国後間もなく、留学当時、独立運動に参加した事実が明

らかになり、京畿道警察部に収監された真のお父様が描かれた。ひどい拷問にも毅然と如何に日本を許すかを考えておられた真のお父様は、敗戦後に帰国する日本人を助ける人類の真の父としての深い心情を表現した。

第3幕では、日本を摂理の中心国家として立てるための真のお父様の祈禱、日本への最初の宣教師派遣、1960年代日本の社会像と共産主義の影響から日本を救うために、展開した勝共運動など摂理史的事件とエピソードが俳優らの熱演を通して感動的な舞台で表現された。

第4幕では、真の父母様を慕い信仰の伝統を守り、原理的な生を生きる日本教会の食口らと、こうした精誠の土台の上で、日本を訪ねられ祝福して下さる真の父母様の摂理的路程が描かれた。また、無理解と迫害の中でも、摂理の道をしっかりと歩み、1990年代半ばに16万人教育と韓日姉妹結縁を勝利した後、母の国の位相を確立していく日本教会の誇らしい歴史を

見ることができた。

第5幕では、出演者のソロと合唱が続く中、お母様日本大会勝利、22,200人世界宣教師勝利、2000年以降の真の父母の勝利的路程などが映像を通じて紹介されて、最後に真のお父様は「母の国宣言」をされた。天の勝利にサタンは自然屈伏し「偉大なる私の真の父母様」を称賛した。地上での使命を勝利され、聖和された真のお父様は聖和後、食口らに真のお父様と一体をなした真のお母様に侍って前進することを願い、さらに真のお母様に侍って「未来の希望」を決意することでミュージカルの幕を下ろした。

ミュージカル『誰よりも日本を愛した人』は、「私のすべての精誠を尽くして」というテーマで、主演級俳優3人と3度のオーディションを通じて選抜された男性14人、女性24人、子供9人など47人の祝福家庭一世・二世が出演した。〈記事提供:ミュージカル制作委員会〉



1~4.記念ミュージカル『誰よりも日本を愛した人』公演の様子
5.記念ミュージカルを観覧する世界指導者ら
6.記念ミュージカルを観覧する真の家庭

7.記念ミュージカル観覧後、億万歳三唱する様子
8.記念ミュージカルを観覧する真のお母様



天宙聖和3周年記念「World Summit2015」記念晩餐



尊敬と感謝の心込めて真の父母様に感謝牌・名誉博士号・礼物奉呈



- 1.ニカラグア・マナグア国立科学大学人文学名誉博士号奉呈
- 2.感謝牌を奉呈される真のお母様
- 3.真のお母様とバラグアイ・フランコ前大統領
- 4.家族代表として挨拶する文薫淑韓国文化財団理事長
- 5.「鮮舞踊団」の「太平舞」公演シーン

「World Summit2015記念晩餐」が天一国3年天曆7月17日(陽曆8.30)午後12時30分、真のお母様を中心に真の家庭と海外前現職国家元首、政治、宗教、経済、NGO、女性指導者など500人余りが参加し、京畿道加平郡雪岳面にある天正宮博物館宴会室で開かれた。

真のお父様のみ旨を奉りお互い協力して 平和世界建設すべき

文薫淑理事長は家族代表挨拶で、「今日は文鮮明総裁の天宙聖和3周年記念日であり、3年間の侍墓精誠が終わる日」とした後、「文総裁もまた、神様を中心とした生を生きてこられた。また、暖かい愛で常に私たちを抱かれ、永遠の世界での生を準備しなければならないと教えられた」と伝えた。続いて「文総裁のみ言葉を読むたびに、常に大きく感動する。皆さんがこの場に共

にあるのは、文総裁の、ために生きる人生とビジョンに共感したからだと思う。人類の長年の念願である平和世界建設のために、互いに尊重し協力していくことを願う」と願い、記念式と記念晩餐に参加した指導者に敬意と感謝の気持ちを伝えた。この日の記念晩餐は、トマス・ウォルシュUPF世界会長の司会で、ジェシー・エドワード米国宗教指導者協議会(ACLC)会長の報告祈祷、文薫淑韓国文化財団理事長の家族代表挨拶、映像視聴、名誉博士号贈呈式、金起興北米大陸会長の勝利提議、晩餐、ジョン・ドリトル元米連邦下院議員の追悼挨拶、文化公演(バイオリン演奏、声楽、韓国伝統舞踊・太平舞)、閉会宣言の順で進行された。ジェシー・エドワードACLC会長は報告祈祷で、「この地上に真の父母様を送って下さり、祝福を通して地球星を理解と愛で連結して下さった神様の賜物と導きに心から感謝する。国境、宗教、人種、文化、言語の壁を越えて、人類が一つになる

ことができるビジョンを提示して下さった真の父母様の教えと生涯伝統に従い、天の祝福を受けることができるように導いてください」と願った。一方、記念晩餐参加者は、真の父母様が神様の解放と人類救援と平和世界実現のために歩いて来られた生涯の足跡をドキュメンタリーで描いた「グローバル平和共同体の新しい道」を視聴した。

世界各国指導者から感謝牌と礼物集まる

午餐は金起興北米大陸会長の勝利提議で始まった。ジョン・ドリトル元米連邦下院議員は、追悼の挨拶で「文鮮明総裁のリーダーシップを心から深く尊敬してきた。特に米国で展開された平和運動に深く共感し、支持してきた」と明らかにした後、「モルモン教徒として、そのビジョンについて皆さんと深く共感し、文総裁が、ここに一緒におられると信じる」と語った。続いて「鮮鶴平和賞表彰式と天宙聖和3周年記念式を通して、文鮮明総裁の遺業を相続・発展させて行かれる韓鶴子総裁の真実の心と実践に感動した」とする行事参加の所感を述べた。一方、この日の記念晩餐でニカラグア・マナグア国立科学大学ネハマ・ベクマン・パディジャ総長が真のお母様に名誉人文学博士号を奉呈した。ベクマン総長は「旧ソ連から脅威を受けたニカラグアのために、文鮮明・韓鶴子総裁ご夫妻が展開されたカウサ(CAUSA)運動の社会的・歴史的価値を最近、認識し、特に世界的な女性平和運動を主導している韓鶴子総裁の功労を高く評価し、今回、名誉博士号授与を決定した」と明らかにした。続いてワシントン・タイムズ議会代表団が感謝牌を、ドミニカ共和国国会議員全員がサインした感謝牌を真のお母様に奉呈した。また、スリランカ最高の大学であるシゼルダ大学ミラタ総長が、真のお母様に礼物を奉呈した。この日の文化公演で、バイオリニスト・オ・イェジュの『チゴインルウアイゼン』の演奏を皮切りに、ロシアから来たJamie Bear Petersonは『Morning of an Age』と『One World』を歌い、最後に「鮮舞踊団」の『太平舞』が演じられた。「World Summit2015記念晩餐」は、文化公演を最後に終わった。天宙平和連合創設者・文鮮明天地人真の父母天宙聖和3周年記念行事の一環として、天曆7月14日(陽曆8.27)、「平和、安保、人類発展」をテーマに開幕した「World Summit2015」に参加した指導者は、この日の午前、清心平和ワールドセンターで開催された記念式にも出席した。〈記事提供：企画広報局〉

真の父母様の格別な関心と愛の中で進行・過去最大延べ4万2千人参加



1.特別集会で語られる真のお母様
2.真の父母様の清平修練苑訪問を歓迎する食口ら
3.青年学生世界総会に出席した文善進世界会長夫妻
4.特別大役事期間、み言葉を語る文妍娥女性連合世界会長

5.青年学生世界総会に出席した青年学生
6.讃頌霊分立する食口
7.先祖祝福式後の団体記念撮影と成婚問答する柳慶錫会長夫妻

「2015夏季清平特別大役事(以下、夏季大役事)」が天曆7月15日から17日まで(陽曆8.28~30)、全世界80カ国以上で歴代最多の延べ4万2千人の食口が参加し盛況に行われた。

今回の夏季大役事は真のお父様天宙聖和3周年記念と一緒に開かれ、その意味は特別だった。真の父母様特別集会、「2015青年学生世界総会」、所願成就祈禱会、聖地巡礼イベント、先祖解怨式と先祖祝福式、所願成就祈禱会、聖物抽選イベントなど、さまざまなプログラムが進行され、これまで以上の天の賜物と新しい生命のエネルギーで充満した。

真の父母様と真の家庭の特別な愛と関心

夏季大役事二日目の天曆7月16日(陽曆8.29)午後9時、1-273代先祖祝福式が世界平和統一家庭連合・柳慶錫韓国会長夫妻の主礼で、天城王臨宮殿で盛大に行われた。この日の祝福式には、霊界の興進様修練苑で100日修練を通して霊的にきれいになった先祖とその

子孫である6000人余りの世界各国の食口が参加した。前日午後8時、天宙清平修練苑大講堂で開かれた2015青年学生世界総会開会式には、世界平和統一家庭連合・文善進世界会長が参加し、「天宙聖和3周年を迎えて、私たちすべては、真実の心と心情と靈魂で、真の父母様の伝統を相続し、未来世代に永久的遺産を残すべき責任がある」と指摘し、「若い青年として、どうすれば恒久的な平和の世界をなすことができるか深く考え、それぞれの可能性と才能を発見して、平和の夢を実現することができる皆さんになることを願う」とした。

世界平和女性連合・文妍娥世界会長は、夏季大役事に参加した食口らに真の父母様に近くで侍り感じた内容を証した。文妍娥世界会長は「ヘリコプター事故が起こった後、体を支えるのも大変だった真のお母様は『一日でも早く治って真のお父様に侍らなければならない。真のお父様があのようには休まれないのに、私が横になってはられない』と言われ、肉身の難しさを克服するために努力され

た」と証言し、真のお母様の絶対的な信仰と心情基準を証した。こうした真の父母様と真の家庭の格別な関心と愛の中で、天宙清平修練苑を訪れた食口らの顔は笑顔で満ちていた。復歸されたエデンの園で霊と肉の治癒を受ける食口は、重生と復活の賜物を感じ、感謝と頌栄を天に捧げた。

出発感謝祈禱会の最初の恵み

出発感謝祈禱会は、夏季大役事初日の天曆7月15日(陽曆8.28)午前6時30分、天総官・興進様と大母様を中心に情心苑で行われた。前日から世界各国より清平聖地に訪ねてきた食口により、情心苑は満場の盛況をなした。情心苑には興進様と大母様のお写真の間に新たに置かれた孝進様のお写真が食口目を引いた。真の父母様は「孝進は、カインとアベルの蕩滅復歸を勝利した孝子であり忠臣である。統一家のすべての食口は孝進と興進が

歩んだ道を見習っていくべき」というみ言葉を下さり、情心苑に孝進様のお写真を迎えることになった。出発感謝祈禱会で李基誠天宙清平修練苑長は「真のお父様天宙聖和3周年記念と共に、『2015夏季清平特別大役事』の出発祈禱会を挙行できるよう導いてくださり、心から感謝する。天上に上げられた真のお父様が絶対善霊を治められ役事されると信じる。ここに歩調を合わせ、地では真の父母様を中心として、全世界の指導者と中心食口と統一家の未来に希望の若者らが一緒に集まって、新しい出発を誓う大役事を行うので、天上世界と地上世界と一緒に共鳴する真の天一国の聖霊役事が今回、大役事の期間に起こるようにしてください」と願った。続いて、参加者らは聖歌6番『聖園の恵み』を歌った後、通声祈禱をした。切実な思いで清平聖地を訪ねてきた世界各国の食口の祈禱が情心苑に大きく響いた。この日の出発祈禱会は李命官副会長の億万歳三唱で終わった。(9面に続く)

特別大役事の賜物 先祖祝福式に続く

真の父母様が神氏族メシヤの使命完遂と善なる霊界圏拡大を強調された中で、2015夏季清平特別大役事期間二日目の午後9時、天宙清平修練苑大講堂では1代から266代先祖祝福式が行われた。天地人真の父母様に代わり、世界平和統一家庭連合・柳慶錫会長が祝福式を執礼した。

連日、夜遅くまで強行された様々な大役事のプログラムにも、食口は一途な情熱と感謝の思いで天が下さる大きな祝福と恵みを一緒に分かち合った。大聖殿は先祖祝福式のために参加した祝福家庭でぎっしりと埋まった。

柳慶錫会長は主礼の辞で、「天上の真のお父様と地上の真のお母様が一つになられ、天上と地上に天一国を実現される摂理を導いておられる。祝福家庭と食口らは、これを肉眼ではなく霊的な目で見るができなければならない」と強調し、「真の父母様の偉大な勝利の伝統を受け継ぎ、Vision2020を達成する誇らしい天の子女となり真の父母様と一心・一体となって、永遠に栄光を享受することができる祝福家庭になることを願う」と祝願した。これに先立ち、李基誠苑長は報告祈祷で「勝利した天地人真の父母様の無限の真の愛と天総官・興進様と大母様の血と汗と涙の精誠で祝福式に参加し、真の愛と真の生命と真の血統を伝授し、天の子女、絶対善霊の位置に立つことができるようにして下さり感謝する。祝福を受ける先祖が天の摂理に協力して、大いなる賜物に報いることができる道を歩むことができるように導いてください」と願った。

天宙聖和3周年迎えより大きな霊的役事

父母様は夏季大役事に参加した食口のために、貴い聖物190点余りを下さり、聖物抽選イベントが開かれた。今回下さった聖物は、過去の大役事より2倍も多かった。真の父母様が清平大役事に参加した食口を如何に愛しておられるか、もう一度確認することができた。大役事期間、大母様祈祷室祈祷会は、天が許された特別な賜物の中で、悔い改めの熱い涙と新しい出発を誓う祈祷の声絶えなかった。また、所願成就祈祷会を通して食口は個人の夢ではなく、天の願いをなす忠孝の生を生きることを決意した。

今回の夏季大役事では、天宙聖和3周年を迎え、これまで以上に讃頌の賜物が充満した。真の父母様は、天上と地上で一体となって主管され、霊界の真の家庭と4800億の絶対善霊が共に役事する大役事を通じて、食口は霊肉の困難を解決する

ことができた。

特別大役事の期間には、一日に三回役事が行われ、食口は墮落性を一つでも多く脱ぐために汗を流し、大きな声と力強い拍手で役事に参加した。講堂を埋め尽くした食口が同時に打つ拍手は、大役事期間中、清平聖地に大きく響いた。

真の父母様の心情と真の愛を相続する「天運相続聖地巡礼」に対する食口の関心と参加が大役事期間中、続いた。日本足立教会のヒグチ・ヒデキ成和青年部長は、「1996年に40日修練を受け、毎日登って祈祷したことを思い出し、久しぶりに天勝台に上がった。ところが、特別な感じを受け『真の父母様が天勝台で精誠をたくさん捧げておられるんだな』と感じた」とし、「今回の大役事期間には、清平聖地全体が祈祷室のようだった」と所感を述べた。

天宙聖和3周年の意味刻む3日路程

愛知県平和統一連合(FPU)ユ・ヨンハ事務局長は「真のお父様の天宙聖和3周年の意味を心に刻む3日路程になることを願い、大役事に参加した」と明らかにした後、「清平は食口にとって心情の故郷だ。復帰されたエデンの園である清平で、すべての食口が再び真の父母様を中心に一つになって出発することを望む」と述べた。

「2015グローバルトップガン修練」を修了した後、すぐに大役事に参加したイバ・セイコ鮮文大学舎長は、「大役事前に『グローバルトップガン修練』を受け、世界的に摂理してこられた真の父母様の偉大さに再び希望を感じた。公職者としてさらに悪霊を分立し、自分の墮落性を脱がなければという思いで大役事に参加した。真の父母様から受けた愛より多くのことを子孫に残すために最善を尽くしたい」と誓った。

夏季大役事に参加した日本北千葉教区船橋教会のワタナベ・ヨシヒコ(36万家庭)食口は、「2020年までに430家庭祝福を完了し、神氏族メシヤの使命を果たしたいという一心で祈祷し、精誠を捧げるために大役事に参加した。まず、天が願う家庭を築き、その基盤の上で地域社会の中心となって摂理に貢献し、天の前に忠孝の道理を果たす祝福家庭となる」と決意した。

今回の特別大役事は、統一家のすべての食口が厳しい困難の中でも清平で一つになって険山峻嶺を超えながら心情的に再び力強く跳躍することができる恵みの修練だった。〈記事提供：天宙清平修練苑広報出版チーム〉



1.切実な願いを込めて祈る食口ら
2.所願成就祈祷会の全景
3.情心苑の前で明るい表情で記念撮影する食口
4.天運相続聖地巡礼に参加した食口

5.聖物抽選イベントに当選した食口と記念撮影
6.讃頌霊分立する食口ら
7.み言葉を語る李基誠天宙清平修練苑長と特別大役事の様子

2015青年学生世界総会閉会式：柳慶錫韓国会長・宋龍天日本総会長の激励の辞



2015青年学生世界総会閉会式の全景と激励の辞を語る柳慶錫韓国会長と宋龍天日本総会長

世界平和統一家庭連合柳慶錫韓国会長と宋龍天日本総会長は、天曆7月16日(陽曆8.30)天宙清平修練苑大講堂で開かれた2015青年学生世界総会閉会式で天宙聖和3周年を迎え、全世界の統一家庭連合未来世代を代表してこの場に集まった青年、CARP、成和学生リーダー3千5百人に激励の辞を述べた。柳会長と宋会長の激励の辞を要約・整理して紹介する。

柳慶錫会長「実質的な未来の主人」のみ旨強調

愛する統一家庭連合の青年学生の皆さん！はじめまして。皆さんは今日、何のためにここに集まりましたか。おそらく今までの人生を結実され、また他の出発をするために集まったと思います。

今日の閉会式で真のお母様が語られた最初のみ言葉は「実質的な未来の主人とならなければならない」という内容でした。何のための、誰のための主人ですか。なぜ真の父母様は皆さんに最初のみ言葉で、このみ言葉を語られましたか。ここに集まった私たち青年学生、成和勇士3千5百人が天一国の主人となるために決意し一つになれば、未来世界は皆さんのものだという確信を与えるために、このみ言葉を下さったと思います。皆さんがこのような真の父母様のみ言葉の中で、総会期間中、各自のアイデンティティを見つける貴い時間

を持つことを願います。

真の父母様が、統一家庭連合青年学生に常に与えられるみ言葉がもう一つあります。それはまさに「神様の希望」です。果たして神様は誰に希望を持ち、望みを抱いておられますか。まさに未来世代の責任を持って行くべき青年と学生、そして成和の皆さんにあるのです。

ところが、ここで条件が一つあります。真の父母様が下さったみ言葉の条件は何かというと、未来の世界に進むことができる明確な人生の目的がなければならぬということです。将来の主人となるためには、人生の目的がはっきりとしていなければなりません。

そして、そのような生を中心には、神様と真の父母様がいなければなりません。皆さんが神様を中心として明確な人生の目標に従って生きれば、今後10年、20年、30年、いや50年後に人生を整理する時、明確な実を結んだ状態で地上世界を整理して行くことができます。

結論としてもう一つお話しすれば、若い青年の希望と望みは心から湧き出る必要があります。心の深いところに秘めた真実は、神様と連結されています。心から湧き出る青年の情熱は、私たちの生をより貴く、栄華なものにすることができます。

真の望みと希望を持って情熱を投入し、未来に向かって進めば、今日、真

の父母が与えられたみ言葉のように、皆さんは道であり、真理であり、生命であられる真の父母様に似た愛の化身になることができます。真の父母様に似た化身になり、強い信仰と信頼を持って人生を切り開いていく皆さんになることを願います。

宋龍天会長：青年に対する真の父母様の愛と希望

天地人真の父母様に侍り、全世界の兄弟姉妹が一つになる感動的で歴史的な瞬間を迎えました。真の父母様の偉大さとその業績を相続することができる驚くべき天の賜物と祝福が皆さんに与えられました。私たちは一つです。肌の色が違い、国籍が違い、文化が違って言語が違っても、私たちは天の父母様と真の父母様の下の一大家族としてこの場に一緒にいます。

天宙聖和3周年を記念して、鮮鶴平和賞表彰式など多くの行事が開かれました。その中で天の父母様が見るに、最も嬉しく重要な場がまさに、皆さんと共にある場だと思います。お父様は天の父母様は青年という言葉が最も好きだと言われました。青年期は一生の中で最も創造本性に近い時期であり、青年には自分より他のために、私よりも私たちのために生きることができる心に満ちています。

真のお父様は青年に会うたびに、あらゆる精誠を投入し、一晩中み言葉を語られました。忙しい摂理の中でも、若者を貴く思われたのです。青年がよく成長し、未来のリーダーとして現れることを熱望されました。このため、真のお父様は成和学生原理研究会、大学原理研究会、青年連合などを創設されました。それは真のお母様も同様です。過去3年間、多くのことをされましたが、その中で最も重要な分野は、まさに青年への投資でした。

真の父母様は皆さんよりも若い年齢で天の召命を受け、復帰摂理の道を歩まれました。誰よりも大きな夢を持って、より積極的に生活され、如何なる挑戦も避けられませんでした。どんな困難も避けずぶつかって、超えて勝利されました。こうした真のお父様のような生を今、真のお母様が生きておられます。

大聖殿の後ろに設置された各国の青年学生の活動広報ブースを見て、皆さんの可能性が如何に大きいかをもう一度確認しました。また、このように短い総会の時間に国境、言語、文化の違いを超えて一つになった皆さんは、統一家庭連合の誇りであり希望です。

真の父母様に出会った皆さんは、必ず国と世界を導く偉大な指導者となるでしょう。皆さんは天のビジョンを抱いて国と世界を新たに作る未来の主役です。天が望まれる天一国時代を開くために、真のお母様と永遠と一緒に摂理の道を歩んで勝利する人生を生きる皆さんとなることを願います。🙏